

しんぐう わくわくキッチンで お料理したよ

新宮町内にある社会福祉法人の職員が子ども達の「生きる力」を応援しようと子ども達と一緒に食事づくりをしました。



みんなで
たべるとおいしいね♪





この場で出会った人たちがつながり、
子どもの育ちを応援してくれる人が
地域に広がっていくことを願って

子どもが自分の力で調理したり、地域の人もふれあえる場になるよう「しんぐわくわくキッチン」を2月24日（土）に下府2区福祉会、下府2区アンビシヤス広場、新宮町社会福祉法人連結会が協力し合って開催しました。

普段は施設内で仕事をしている町内の社会福祉法人の職員が、この日は地域の公民館に向き、小学1年生から中学3年生までの31人の子供達に、家にある野菜や調味料を使っておいしい手作り料理ができるように調理の仕方を教えました。

家のお手伝いとはちよつと違い、栄養士や調理師の先生から基本の手洗いはじめ、野菜の切り方やドレッシング、おにぎり、豚汁作りを教わった子ども達、出来あがった料理は招待した地域の高齢者35人と一緒にいただきました。

食事の後は、おはじやあやとりで遊んだり、ボランティアとバリンアートで楽しんだり、世代を超えて交流できる「安心して来やすい居場所づくり」になりました。

これからも新宮町社会福祉法人連絡会では、子ども達の「生きる力」のお手伝いができるように地域での取り組みを応援していきます。



＜新宮町社会福祉法人連絡会メンバー＞（8法人 11事業所）

法人名	施設名	主な事業
福岡コロニー	福岡コロニー	障がい者就労施設
レーヴ福岡	立花園 ムネしんぐわ	
新宮偕同園	新宮偕同園	特別養護老人ホーム
きょうか福祉会	暁華保育園	
未来福祉会	新宮あおぞら保育園	保育所
	上府あおぞら保育園	
輔仁会	新宮つぼみ保育園	
聖会	認定こども園 新宮杜の宮コスモス保育園	
	認定こども園 新宮下府コスモス保育園	
新宮町社会福祉協議会	新宮町社会福祉協議会	地域福祉



下府2区公民館で 「しんぐうわくわくキッチン」 子どもから高齢者まで 地域の人交流

参加した子ども達の声



- ★ごはんが熱かった。けど、おにぎりができた。
- ★ふた汁がおいしかった。おかわりして食べた。
- ★ふだんは料理とかしないけど楽しかった。もう少し練習したら家でもできると思う。
- ★お年寄りと一緒に遊べてよかった。
- ★先生の包丁が早くてすごかった。

参加した高齢者の声



- ★子ども達が準備してくれておいしい食事をいただきました。
- ★ゲームも一緒にできて楽しかった。
- ★どうしようかと思っていただけに来てよかった。元気になった。ありがとう。



新宮町 社会福祉法人連絡会とは

新宮町内にある社会福祉法人が一同し、新宮町の住民の皆様が安心して暮らせるよう、住みよい町を創っていかうと結成しました。

高齢者、障がい者、保育施設を運営する法人が力を合わせ、相互連携し新宮町の福祉問題や課題等に対し具体的に事業を実施していきます。

この事業に賛同・協力いただいた事業所

(敬称略)

- ♥ マックスバリュ新宮杜の宮店
- ♥ JA粕屋新宮支所
- ♥ ひとまるの里

ありがとうございます。



「しんぐるつと ～支え合いのまちづくり推進会議～」

報告会開催！

「しんぐるつと～支え合いのまちづくり推進会議」では「どのような地域に住みたい?」「私たちにできることってなんだろう?」の思いから、この一年、関心の高いテーマについてグループワークをかさねてきました。そのまとめたものを知ってもらうため、住民をはじめ、各関係団体、病院や福祉施設関係者に参加していただき、平成30年3月4日(日) シーオール新宮多目的ホールにて報告会を開催しました。

○実践報告

生活支援ボランティアを福岡市東区美和台で先駆的に活動している「2丁目ボランティアの会 ブルーネット」の代表田口桂子氏より住民同士の助けあい活動について実践報告をしていただきました。



1班 テーマ

子どもの貧困・居場所づくり

町内には地域サロン以外にも様々な「居場所」があるが、広域的なだれもが気軽に集える場にはなっていない。多くの団体や人々と協力しながら、誰もがいつでも自由に過ごせる居場所づくりが必要。
・1班に参加した7名で「地域支援プロジェクトチーム」を結成。
・居場所づくりをメインに様々な支援活動を考えていきます。



2班 テーマ

地域に住む高齢者への支援

地域サロンの活動を有効に活用しつつ、既存の団体や個人への支援が必要。
・高齢者への外出支援や社会参加活動への支援が必要。
・世代間交流などコミュニケーションが大切。



3班 テーマ

高齢者の居場所づくり

居場所づくりは一つではなくいろいろな形を模索していくことが必要。
・幅広い世代に呼び掛けて活動できる企画等、人をあきさせない内容を計画。続けていくことが大切。
・強制ではなく「やる気」を起こさせる自発的な活動。
・「居場所」は公民館だけでなく空き家でもいいのではないか。



4班 テーマ

地域で活動できるボランティアの育成

福祉ボランティアは活発に活動している団体もあれば、メンバーの高齢化により活動が低調になってきている団体もある。
・地域で活動できるボランティアを全世代で育成し、互助を図ることが必要。
・ひと声掛けて「だれでも、どこでも、ちよつと」ボランティアから活動の輪を広げていく。
・活動の中で感じられる楽しさや充実感などを知らせていく。
・行政区を越えて住民同士が協力しあう場面も必要。



各班の発表後、アドバイザーのさわやか福祉財団 阿部かおり氏より総括していただきました。



「皆さんが勉強して自分たちが何をやりたいかが明確化されたが、ここからが大事で、今後地域の人がどう考えているかが知る必要があり、地域の皆さんから上がってきた声を、どうしたら良いものになるか、どうしたら実現できるかを提案する場所にするべき。」

「また、そのためには、地域の座談会（下記参照）に参加して、地域に出て来られない人や意見を言えない人をどうするか。事業所、福祉施設、病院には来られている人もいるので、アンケートやその場でのヒヤリング等、拾い上げていく必要がある。」

「今後の協議体については、新宮町は若い世代が多くなってきた高齢化率は低い、高齢者がいなくなったわけではなく、中間層も含めた全体で考え、テーマごとにもしっかりと深めていくのがよい。」

「最後に、この制度は平成30年度には国からのチェックが入り、補助金にも係わってくる。これは皆さんの活動の活動にもなるので、もっとしんがって活動を見える化し、アピールしていくことも重要だ。」と終わられて締めくくられました。

○最後に・・・

このまとめは、報告書として新宮町の今後の福祉に役立ててもらおうと、新宮町町長に手渡しました。



今後もしんがるとでは、定期的に開催しながら自分たちに何が出来るのか、住みよい新宮町にするにはどうしたらよいかなどを住民の視点から考えたいと思います。

みなさんいっしょに新宮町を盛り上げていきましょう！



地域の声をきく

地域座談会

新宮町には24の行政区があり、それぞれ特徴・課題があります。

「この地域はどのようなところがあるのか」「安心して住みやすい地域にするには何が必要なのか」「自分たちに何が出来るのか」等、住民の皆さまや地域の施設、関係団体と共に考えていく場として地域座談会を開催しました。

平成29年度は花立花区、夜臼2区、桜山手区の3行政区で開催しましたが、今後は全行政区での開催を目指します。



▲花立花区



▲夜臼2区



▲桜山手区

だより

ボランティア
講座

おとなのふくし体験学習

～自分にできることを考えよう～

ふくしの体験を通して、

自分にもできるボランティア活動を考えてみませんか??



介護予防ポイント
対象事業

- 対 象：ボランティア活動をしてみたい人 ※町内在住者優先
今している活動のために勉強したい人
- 定 員：20 名
- 参 加 費：500 円（初回に集めます。）
- 場 所：新宮町福祉センター 研修室 1・2
(〒 811-0119 新宮町緑ヶ浜 4 丁目 3-1)
- 申込締切：4 月 9 日（月）

○日程・内容

1 限目

「コミュニケーションを学ぼう」

日時：4 月 11 日（水）

13：30～15：45

講師：合同会社アウエフキャリア
代表 田島 聡子 氏

2 限目

「手話体験

～聴覚障がいについて知ろう～

日時：4 月 19 日（木）

10：00～12：00

講師：手話の会新宮支部
あやとりの会

3 限目

「点字体験

～視覚障がいについて知ろう～

日時：4 月 25 日（水）

13：30～15：30

講師：点字ボランティア
ともしび

4 限目

「町内施設見学

（高齢者・障がい者施設等）」

日時：4 月 26 日（木）

～5 月 15 日（火）の中で
後日調整

場所：見学先施設

5 限目

「みんなで話し合おう

（グループワーク・修了式）」

日時：5 月 16 日（水）

13：30～15：30

ボランティア

自分にできるボランティア 見つかりますか？

社会福祉協議会は、ボランティア活動を応援しています♪
ボランティアをやってみたい人、興味のある人は
お気軽にご相談ください。

活躍中のボランティア

手話

点字

子育て
支援

傾聴

あなたも一緒に
レッツ!! ボランティア!!

布おもちゃ

バレーン
アート

食事づくり

ハーモニカ



落語

手品



他にもいろいろな人が
活躍しています！

コミュニケーション麻雀??
こんなボランティアも!!

申し込み・問合せ先 新宮町社会福祉協議会

新宮町ファミリー・サポート・センター

TEL 692-9622
FAX 963-0127

ファミリー・サポート・センターは、育児のお手伝いを行いたい人（まかせて会員）と子どもを預けたい人（おねがい会員）が会員となり、センターが仲介して会員同士で支え合う会員組織です。

この春入園や入学で環境が変わって子どもたちも慣れない環境で毎日頑張って通園、通学をしていくことになりますね。

ファミリーサポートセンターでは、園や学校までの送迎や、保護者の外出時にまかせて会員宅での預かり等、地域のなかで助け合いを行っています。



事前打合せの様子



おねがい会員になるには講習（1時間程度、センターのしくみやきまりなど）を受けた後に会員登録できます。対象のお子さんは生後6カ月から小学校6年生まで。

お預けする前に必ず事前打合せ（顔合わせ）がありますので、預けたい日にちが決まったら早めの登録をおすすめします。

《講習会受付日時》

平日 月～金曜日（9：00～16：00）

※土曜日についてはお問い合わせ下さい。

開所時間 月曜～金曜 8：30～17：00

こんな活動しています♪

- 幼稚園から習い事までの送迎
 - 就職活動中のお預かり
 - きょうだい児の行事のときのお預かり
 - 出産後の幼稚園の送迎
- など・・・



新宮町は子育て世代が多く、お手伝いを必要としている人がたくさんいます。あなたの空いた時間にできる範囲でサポートしてみませんか？

子どもを預るための講座は年2回おこなっています。

開催日程が決まりましたら広報などでお知らせします。

利用料

月曜～土曜（祝日を除く） 7:00～19:00	1時間当たり	600円
上記以外の時間	1時間当たり	800円
日曜日・祝日	1時間当たり	800円
送迎がある場合	1回につきプラス	100円

利用者の声♪

（おねがい会員）

安心して預けて仕事に行けました。

（まかせて会員）

子どもの笑顔に癒され子育て中のお母さんのお手伝いができてうれしいです。

講習会の様子



地域子育て支援センター かんがるーひろば

TEL 963-0134
FAX 963-0127

みなとの出張ひろば

**出張ひろばの場所が4月から
変更になります！**

場 所：湊区公民館（新宮町湊 221 番地）
（マリンクスバス停「湊」から徒歩3分）

開所日時：毎週月曜日 9:30～14:30

（祝日、お盆、年末年始はお休みです）

出張ひろばは0歳から3歳までのお子様と保護者が気軽に集う場所です！

* 地域子育てサロンもぜひご利用ください。



▲湊区公民館



▲クリスマス会の様子

「かんがるーひろば」は、乳幼児とその保護者が気軽に来ておしゃべりしたり、親子で一緒に遊べるひろばです。同じ子育て中の親子が交流したり情報交換をして、「仲間の輪」づくりをしてみませんか。

・かんがるーひろば



・0歳児、1歳児、2、3歳児講習会（月1回開催中！）



・誕生会（毎月開催。お誕生月のお友だちにカードをプレゼント!）



・離乳食教室

管理栄養士の先生
迎え、だしの取り方や
コップ・スプーンの使
い方など、実演・試食
を交えてお話を聞か
す! 第1子で9カ月未
満の親子を対象に行
います。



・ベビーマッサージ

（4カ月～1才未満の

お子様を対象に行います！

偶数月第4金曜日午前開催。）

4月、5月の主なイベント

4月20日	バルーンアート&ランチ会 11:00～12:30
4月27日	ベビーマッサージ（※要予約） 11:00～12:00
5月12日	親子でフラワーアレンジメント（※要予約） 13:00～14:00
5月19日	親子リトミック（※要予約） 10:00～10:20 0～1歳半 10:30～11:30 1歳半～3歳
5月29日	転入ママ・新米ママのつどい（※要予約） 10:00～12:00

詳しくは、お問い合わせください

（ホームページもご覧ください）

対 象 原則0～3歳までのお子様とその保護者
（きょうだい児の幼稚園・保育園児は利用可
小学生以上利用不可）

開 所 日 毎週火～土曜日の週5日

休 所 日 月曜、日曜、祝日、年末年始

開所時間 9:30～15:30

場 所 新宮町福祉センター

* 随時、大広間の開放あり



ふくし体験学習の推進

社会福祉協議会では学校や地域で行われるふくし体験学習を応援しています。地域で暮らしづらさを感じている人の不便さを理解し、誰もが地域の大切な一員として、ともに生きる町づくりを目指しています。

体験学習には、障がいのある人をはじめ、ボランティア、福祉施設で働く専門職がかかわりながら学習をすすめています。

今年度、新宮中学校の新しい取り組みの一環として、ふくし体験学習を行い、子育て支援について考えを深めましたのでご紹介します。

新宮中学校1年生が考える『新宮町未来計画』

【目的】

調べ学習を通して、自分たちが住んでいる新宮町についての理解を深め、将来の町づくりへの参画意識高揚を図る。学級や班での活動を通して、情報発信や相互理解の力を高める。

○子育て支援グループ

[外遊びコース] フィールドワーク

ゲストティーチャー

新宮外遊びの会 谷口さん・中村さん

[幼児食コース] 買い物・調理実習

ゲストティーチャー

管理栄養士 百武先生



生徒の感想

公園によって置いてある遊具が違ふことと、子供たちの目線にたった公園作りがされていることがわかりました。



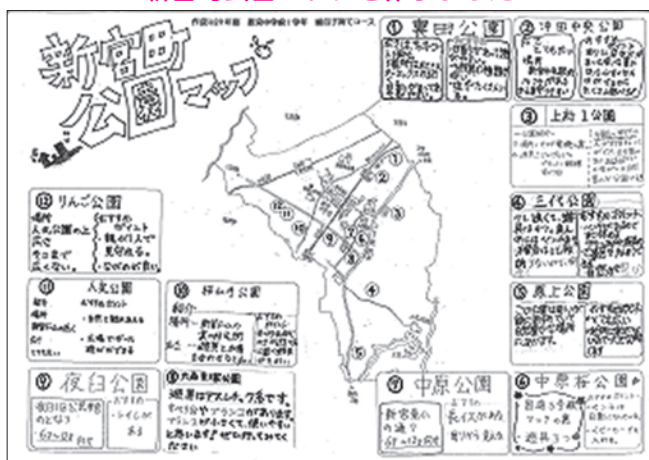
生徒の感想

年齢に応じた食事作りが大切だと思いました。例えば栄養の面を考えて、苦手なものを他のものと混ぜて食べやすくするなどです。

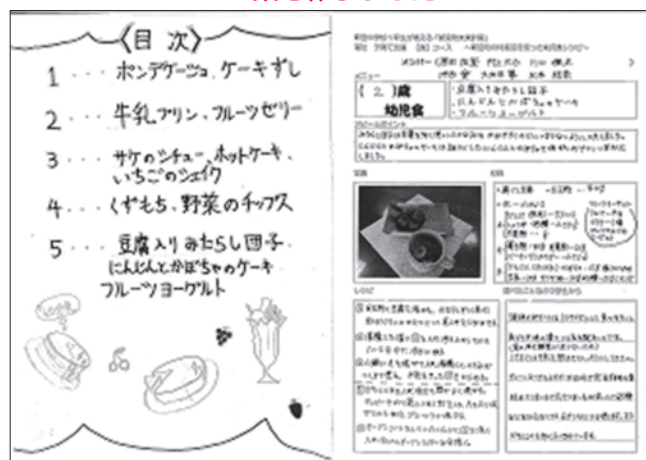
新宮町にどんな公園があるのかを調べ、それぞれの良い点、改善点を話し合いました。

各クラス6人のグループで自分たちで決めたメニューを調理しています。

新宮町公園マップを作りました！



レシピ集を作りました！



新宮中学校1年生が一生懸命に作りました。

子育て支援センターとファミリー・サポート・センターにマップとレシピ集を置いてます。ぜひ子育て情報の一つとしてご活用ください。



福久千奈美先生

訪問介護事業所 ヘルパー室だより

TEL 963-0922
FAX 963-0127

あんしん生活支援事業

新宮町社会福祉協議会では、日常生活での困りごとをお手伝いさせていただき独自の福祉サービスを行っています。

詳しい内容については、お気軽にお問い合わせください。



利用できるひと

- ☆65歳以上の高齢者 ☆障がいのある人
- ☆一時的な病気や産前産後などやむを得ない理由により家事や介護に支障のある人
- ☆在宅で介護をしている人

利用時間

- ☆月曜日から土曜日(祝日および12/29~1/3を除く)
- ☆午前8時 から 午後6時

利用料

簡易なサービス	30分まで	500円
家事援助	30分まで	850円
	30分を超えて60分まで	1,600円
	60分を超えて90分まで	2,350円
	90分を超えて120分まで	3,100円
身体介護	30分まで	1,100円
	30分を超えて60分まで	2,100円
	60分を超えて90分まで	3,100円
	以後30分ごとに1,000円増し	

サービス内容

簡易な家事援助

・電球交換 ・ゴミ出し など

衣類に関すること

・洗濯 ・衣類の繕い
・アイロンかけ など

住まいに関すること

・掃除 ・整理整頓 など

食事に関すること

・買い物 ・調理
・後片付け など

外出に関すること

・通院の付き添い
・散歩や買い物の付き添い など

その他のサービス

・話し相手 ・入退院の準備
・幼稚園のお迎え
・見守り など

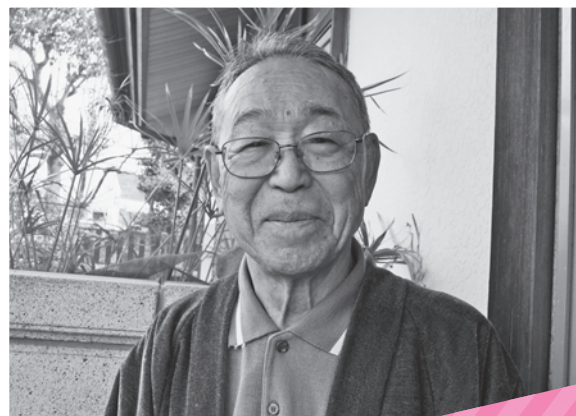
あんしん生活をご利用の 荒牧さんです。

男一人になり、ヘルパーさんが来てくれることで、規則正しい生活になりました。

食事は作っているけど作り方とか聞いて役に立っています。

出掛けるときの服や、衣替えなど生活のことを教えてもらえて助かります。

ひとりりで住んでいるので、話し相手が出来たようで元気になれます。



☆随時、登録ヘルパーを募集しています。詳しくはヘルパー室までお問い合わせください☆

ターになります！



と「新宮町ボランティアセンター」が統合されて、

○ボランティアについて

新宮町ボランティアセンター（旧名称）で受け付けていましたボランティアに関する問い合わせやファミリーサポートセンターは、下記の連絡先をお願いします。

福祉ボランティアに関すること、ボランティア活動保険、
ボランティア講座、ふくし体験学習などの問い合わせ先

新宮町社会福祉協議会（新宮町福祉センター内）

電 話：963-0921

FAX：963-0127

※旧番号（電話962-1222 FAX962-6777）は使用できません

ファミリーサポートセンターの問い合わせ先

新宮町社会福祉協議会（新宮町福祉センター内）

TEL：963-0921

FAX：963-0127

○部屋の利用について

平成30年4月1日以降は、営利目的での部屋の利用が出来なくなります。
部屋利用の予約については、利用月の前月1日より予約が可能となります。

新宮町福祉センターの部屋利用予約等の問い合わせ先

健康福祉課高齢者福祉担当（新宮町福祉センター内）

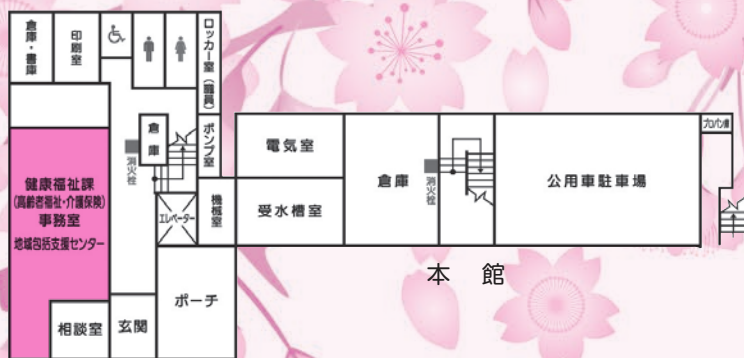
電 話：710-8286

FAX：710-8287

※電話とFAXは4月1日から

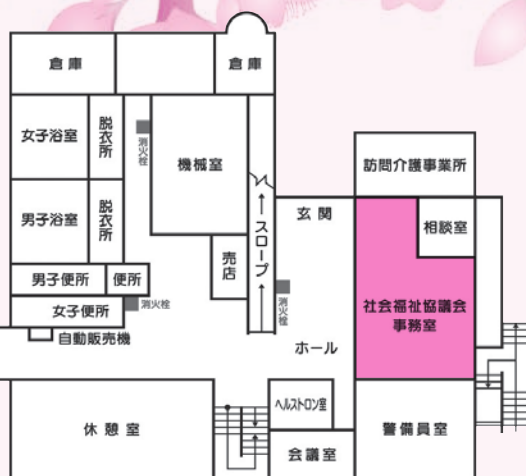
新宮町福祉セン

平成 30 年 4 月 1 日より「新宮町社会福祉センター」
新たに「新宮町福祉センター」となります。

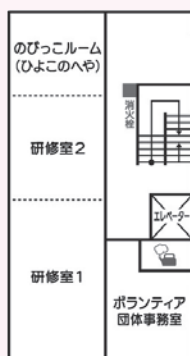


別館

1階平面図

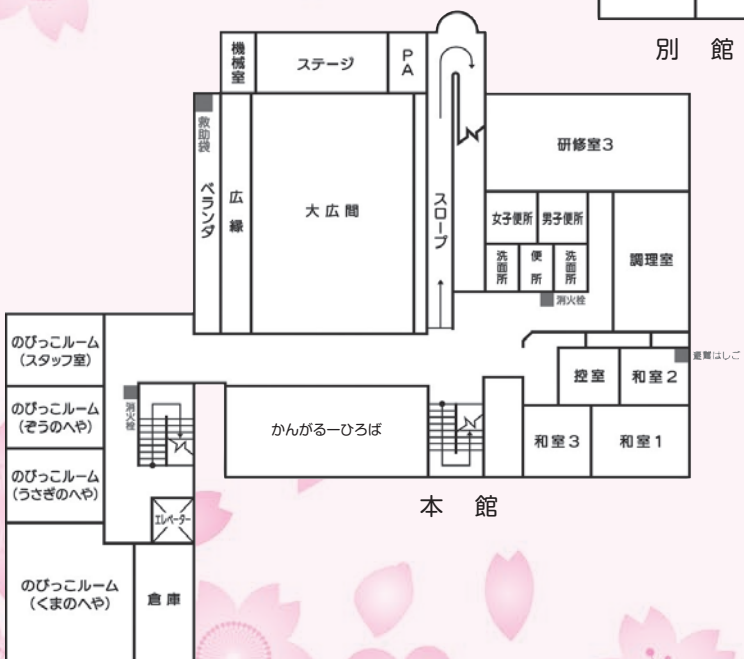


本館



別館

2階平面図



本館

別館

3階平面図



赤い羽根共同募金

平成29年度募金実績額

募 金 名			金 額
戸 別	募 金		2,405,027円
法 人	募 金		1,231,092円
資 材	募 金		287,367円
学 校	募 金		131,974円
街 頭	募 金		66,841円
募 金	箱		88,412円
自 販	機		129,488円
そ の	他		81,920円
合 計			4,422,121円

昨年10月から全国一斉に展開された赤い羽根共同募金運動は、住民の皆さん・事業所等各関係機関の温かいご理解とご協力で、たくさんの善意の募金が集まりました。こころよくご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

また、募金活動にご協力いただきました区長、民生委員・児童委員、福祉委員、園児・児童・生徒のみなさん、ボランティアの皆さまにつきましてもこの場をかりてお礼申し上げます。

ご協力いただいた募金は、全額福岡県共同募金会に納入し、平成30年度に約75%が新宮町支会に還元され、残りは災害等準備金、全県的な活動を行う福祉団体に配分されます。

配分総額の3,221,000円を本会の平成30年度福祉事業に活用します。

○高齢者福祉活動費 296,000円



会食型の食事サービス(ひまわり会)
新宮町老人クラブ連合会助成
新宮町在宅介護者「こぶしの会」助成 など

○障がい児・者福祉活動費 416,000円



新宮町身体障害者福祉協会助成
心身障がい児者親の会助成 など

○児童・青少年福祉活動費 900,000円



社会福祉協力校活動助成
しんぐう子育てNAVI助成
新宮町母子寡婦福祉会助成 など

○住民福祉活動費 1,609,000円



ボランティア団体活動助成
ボランティア講座 新宮町遺族会助成
みどりの会助成 「福祉だより」発行
福祉会活動助成 など

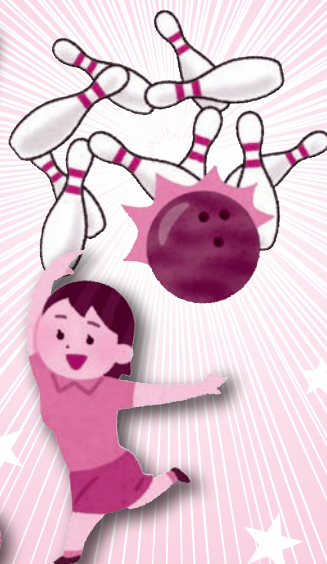
第26回新宮町福祉 チャリティボウリング大会開催しました!

平成30年2月16日(金)、新宮Jボウルで新宮町福祉チャリティボウリング実行委員会主催の第26回大会が開催され、昼の部・夜の部あわせて173人の申し込みがありました。

チャリティ益金より250,000円を実行委員会から社会福祉協議会へ寄付をいただきました。

この寄付金は、地域福祉の推進に活用させていただきます。

また、参加賞を協賛いただきました㈱フランソア様にも併せて厚くお礼申し上げます。



【賛助会員】																	【特別会員】	
○上府区																	○上府区	
安武 徳昌	赤坂 周	安武 仁子	安武 研二	井 彬	青木 雅任	小野 早苗	安川 博明	安川 雄二	中野 正敏	高木 法行	赤坂 伸子	安川 幹彦	城野 茂子	熊田 國博	村川 幸子	田代由布子	東 育子	
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
○夜区																	○夜区	
森 勝範	森 金伍	森 峯徳	森 正文	森 和勝	森 和美	白石 一雄	横大路正志	横大路弘子	中澤 桂子	山中 浩	田代由布子	村川 幸子	城野 茂子	熊田 國博	松田由美子	鬼木真知子	安武 秀美	
(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
○杜の宮区																	○杜の宮区	
安武 智世子	森 茂敏	行平 新	森 ミドリ	松本 誠也	中野 京子	岩本 虎雄	松田 明	廣田 修	中山 輝義	古賀祐二郎	楠本 譲二	片山 憲治	井手久美子	池田 義則	井 フジミ	城戸 和子	安武 智世子	
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
○杜の宮区																	○杜の宮区	
安武 智世子	森 茂敏	行平 新	森 ミドリ	松本 誠也	中野 京子	岩本 虎雄	松田 明	廣田 修	中山 輝義	古賀祐二郎	楠本 譲二	片山 憲治	井手久美子	池田 義則	井 フジミ	城戸 和子	安武 智世子	
(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	

平成30年度社協会員
ご加入ありがとうございます。
平成30年2月28日現在 順不同・敬称略
掲載の了承を得られた方のみ、お名前を載せております。

編集後記

これまで、社会福祉センターとボランティアセンターで名前が分かれていましたが、4月から「新宮町福祉センター」という名称に統一されます。

建物の名前は変わっても、社会福祉協議会の役割は変わりません!!

今まで以上に地域みなさんと一緒に明るく楽しく地域づくり♪

改めてこれからもよろしくお願いします!!

だっちー

香典返し

(2月28日受付まで)

寄付された人	亡くなられた人	(区名)
鳥居 房志様	鳥居 信久様	(夜白一)
高野美奈子様	高野 次夫様	(夜白二)

一般寄付

柏屋北部地区防災協会	様	金一封
新宮町老人クラブ連合会	様	金一封
安武 康雄	様	金一封

寄付のお礼

地域福祉の為に役立てて下さいと、次
の人から寄付がありました。
厚くお礼申し上げます。

～みんなの力で人にやさしい地域づくり～

◆ 平成30年度 社協会員加入のお願い ◆

新宮町社会福祉協議会では、福祉のまちづくりを目指してさまざまな地域福祉活動を行っています。そのため貴重な財源となっているのが、社協会員制度です。地域のみなさまの思いを事業に反映させていくため、ぜひご協力をお願い致します。

賛助会員：1口 1,000円

特別会員：1口 10,000円

地域の皆さまからの気持ち（会費）はこのように使われています。

未来ある子どもたちのために



地域のボランティア活動の支援に



高齢者がいきいきと暮らすために



障がい者が安心して暮らせるように



安心して暮らしていただくための相談窓口

相談はすべて無料です。
秘密は固く守ります。

◇ 心配ごと・福祉なんでも相談 ◇

(毎月第2火曜日開催)

みなさんの身のまわりに起こっている苦情や
心配ごとなど、気軽にご相談ください。

- 日 時：4月10日(火) } 午前10時から午後3時まで
5月 8日(火) } ※1人あたり30分
6月12日(火) }
- 場 所：
- 相談員：人権擁護委員 行政相談員
社会福祉協議会職員
- 内 容：生活・家庭不和・結婚・近隣の問題
行政に対する苦情、高齢者や家族の悩み、
福祉サービスの利用や金銭管理についての
不安、ボランティア活動などの相談
※予約は不要です。午後2時30分までにお越しください。

◇ 無料法律相談 ◇ (隔月開催)

法的な知識を必要とする複雑な問題に対し、弁護士が
適切なアドバイスを行います。

- 日 時：5月15日(火) 午後1時から午後4時まで
※1人あたり30分
- 場 所：新宮町 福祉センター
- 対 象：原則として町内に住んでいる人
※裁判所で起訴中のもの、弁護士に依頼済みのものは受付
できません。また、ひとつの内容については1回の利用に
限ります。
- 定 員：6人
- 申込受付開始日：5月1日(火)
※予約制。定員になり次第しめきり
- 申込方法：窓口または電話

詳しくは
お問い合わせ
下さい

新宮町社会福祉協議会 (福祉センター内)

(TEL) 963-0921

(FAX) 963-0127



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成されています。